

ブラスト処理した鋼材の表面特性に関する研究

キム, アラン

<https://hdl.handle.net/2324/6787583>

出版情報 : Kyushu University, 2022, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :



氏 名	キム アラン			
論 文 名	ブラスト処理した鋼材の表面特性に関する研究			
論文調査委員	主 査	九州大学	教 授	貝沼 重信
	副 査	九州大学	教 授	濱田 秀則
	副 査	琉球大学	教 授	押川 渡

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、ブラスト処理により、鋼構造部材の適切な素地品質を確保し、防食皮膜や補修・補強材の耐久性を長期間維持するため、研削材や投射の圧力、角度、距離および時間のブラスト処理の諸条件がブラスト後の鋼材の表面性状、電気化学特性および塗膜やエポキシ樹脂の付着挙動に及ぼす影響を明らかにした上で、重度腐食した鋼構造部材を対象としたブラスト処理後のターニング特性、およびターニングした鋼素地が塗膜・エポキシ樹脂の付着挙動に及ぼす影響を解明したもので、橋梁工学および腐食防食工学上寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。